各都道府県新型コロナウイルスに関する実地研修状況

令和3年3月22日現在

都道府県名	PCR研修				鼻腔・咽頭拭い液　検体採取研修			備　　考
	第1回	第2回	第3回	第4回	第1回	第2回	第3回	
北海道					10/17　10名 ≪研修内容≫ ・座学①鼻腔の解剖について②PPEの扱い感染対策について③患者接遇④採取の実践的なコツ ・実習 シミュレータを用いた検体採取⇒PPEを装着し参加者同士での実践検体採取	10/31　7名 （前回同様の研修）		当会では札幌市行政との懇談経緯があり、10月から市内PCRセンター2か所の検体業務協力を開始。
青森県								
岩手県								
宮城県	3/14　21名（受講者16名、見学者5名） 講義「新型コロナウィルス感染症～現状と基本的な感染対策」 レクチャー①「RT-PCRの原理と注意点」 レクチャー②「感染対策とPPE着脱実習」 実習①i-densy実習②FilmArray							テレビ局3社（仙台放送・東北放送・宮城テレビ） 新聞社1社（河北新報社） が取材に来られた。
秋田県								
福島県	11/14　31名 講義「新型コロナウイルス感染症の核酸増幅検査（PCR等）の実地研修に向けて～機器新設コース～」 実技研修　メーカー4社に参加いただき「各機器の説明と実地研修」				9/12 Web研修修了者20名と指定講習会修了者4名(計24名) ①講義「新型コロナウィルス感染症に関する基礎知識・感染管理の基本」 ②実習「正しいPPE着脱」 ③シュミレータを使用して「鼻咽頭からの検体採取」			
（機器新設コース） 山形県	10/3　5名（密を避けるため1研修会当たり5名以内に制限） 前半講義は概要とPPE脱着 後半は模擬検体でLAMP法キットを用いて実習「バイオセーフティ」「コンタミネーション防止」「核酸汚染の防止」へ注意事項を確認	10/11　5名 （前回同様の研修）	10/17　5名 （前回同様の研修）	10/24　4名 （前回同様の研修）				
（行政支援コース）	10/14　3名 前半講義　PCR検査においてバイオセーフティに留意白髪ら偽陽性や偽陰性、ミス防止の注意点 後半　模擬検体を使用した新型コロナウィルス検査の実地研修（見学）							
新潟県					11/15 10名　全行程　150分 講義　50分「鼻腔・咽頭拭い液採取の為に知っておきたい解剖」 実技　計60分「PPE着脱、鼻腔・咽頭拭い液採取方法」他情報交換			講義では、図式やファイバー画像を閲覧しスワブ挿入の実践に即した内容の講演をいただいた。 実技指導はPPEの正しい着脱方法、シュミレータを用いた上咽頭拭い液採取。参加者からは「PPEをつけて検体採取に臨む意識を高めることができ偽陰性をもたらすことのないよう再認識できた」と感想が聞かれた。
茨城県								
栃木県	8/30(日)　18名（実務委員5名含む） 座学・検体前処理見学・ピペッター操作見学・試薬調製方法研修 ・意見交換	9/12 (土)(下野新聞取材)	10/24（土）	11/15(日)（宇都宮テレビ取材）				全4回の実地研修修了者　総数101名 宇都宮市夜間休日救急診療所での抗原検査の実施協力、クラスター発生支援チームへの臨床検査技師の参加等、協力依頼に栃臨技として積極的に協力している。
群馬県	11/28 15名（実務委員3名含む） 実技は1グループ5名×3グループ編成した ≪研修会内容≫ ・RNA抽出に関する説明 ・RNA抽出 実技講習 ・講義「RNA抽出方法について」「核酸検査について」「大学病院の運用方法」 ・結果の解析及びレポート作成 ・結果解析（ケーススタディ）	令和3年2月13日（土）予定						11/28上毛新聞が取材に入り翌日掲載された。
山梨県								

長野県					①北信地域 4施設での鼻腔・咽頭拭い液の採取および（PPE)の着脱実技講習 ②飯田市 5/22保健所職員による検体採取・PPE着脱講習会実施	③中信地域　計6回　合計41名 ⑴8/28 長野県立こども病院　6名 ⑵8/31 相澤病院　9名 ⑶9/3 安曇野赤十字病院　5名 ⑷9/4 松本協立病院　5名 ⑸9/10 信州大学医学部附属病院11名 ⑹10/26 松本市医師会医療センター5名	④南信地域　28名 ≪研修内容≫ ⑴核酸増幅（PCR等）検査技術　座学 ⑵実習 ⑶抗原定量検査の注意点 ⑷飯田市地域外来検査センターの見学及びPPE着脱訓練、検体採取訓練	・各地域の支部長を中心とした会員、他団体との協力しCOVID-19に対応できている。 ・今後県内における検査増値の普及、実技講習会・検体採取の研修を実施する。 ・他県の先駆的取り組みを導入、新たな取り組みを進める。 ・県、医師会との連携強化する。 ・老人施設への対応、下水のPCR検査等、今後に見据えた取り組みを進める。 ③中信地域≪研修内容≫正しいPPE着脱、検体採取の注意点講義後に実技採取
埼玉県								
千葉県					11/29　13名 ≪研修内容≫ 1.「正しいPPE着脱について」 講義⇒実習 2.「鼻咽頭からの検体採取の方法」 講義⇒（シミュレータ使用）実技 3.質疑応答			
東京都								
神奈川県	7/31　（Smart Amp法）	8/18　（Smart Amp法）	9/1 (Smart Amp法) （各日1日2回）これまでに53名		「自施設でのOJTが不可能」申請者に鼻腔・咽頭からの採取ならびにPPE脱着の研修をこれまでに2回のOJTを実施			
	8/20　（RT-PCR法）	8/25　（RT-PCR法）	8/27（RT-PCR法)各回5名計15名					
	8/26　（LAMP法）	これまでに計5回受講者22名						
富山県	1施設2名参加原則、全6回合計23名 10/16（第1回） 10/17（第2回）同研修内容	10/23午前 （第3回）同研修内容 10/23午後 （第4回）同研修内容	10/24（第5回）同研修内容	11/14（第6回）同研修内容	11/28　18名 ≪研修内容≫ ①新型コロナウイルスの基礎知識 ②PPEの重要性についての基礎知識③PPE着脱実習 ④検体採取時の基礎知識 ⑤検体採取実習 ⑥質疑応答			【PCR研修内容】 講義①核酸抽出についての基礎知識（10分） ②核酸抽出における注意事項（10分） 実技①RNA抽出、RT-PCR実習（150分） ②質疑応答
石川県					9/12　46名（WEB講習修了者13名、指定講習会修了者33名）2部構成 ≪研修内容≫ ・「検体採取のための一連の手順」動画による解説説明。 ・グループに分かれ実習（シミュレータを用いる） ・PPEの着脱実技			
岐阜県	9/7　三密を避けるため受講者を絞り、オンライン基礎研修修了者55名のうち5名参加	9/8　オンライン基礎研修修了者55名のうち　5名参加	9/14・15・28・29 計4回同様の研修会を予定している					≪研修内容≫ 病原体検出マニュアル2019-nCoVVer.2,9,1に従って ・PPE着脱方法・検体採取と保存・材料、機器、器具及び試薬、操作上の注意・RNAの抽出・TaqManプローブを用いたリアルタイムRT-PCR法による遺伝子検査・検査結果の判定・精度管理・試薬調製
静岡県 （機器新設コース）	10/25 11:45~15:30　9名 ①講義「核酸増幅法における注意点」 ②LAMP法実習　抽出・測定の説明 ③他検査法の紹介				11/29　8名 2部制 （4名×２班に分けた） ≪研修内容≫ （自施設で実技指導を受けられない方のみ） 講義：諸注意事項の説明 実技：①正しいPPE着脱実技 ②検体採取の模擬研修 ビデオ講習：新型コロナウイルスの基礎知識と検体採取諸注意の復習			本研修会は翌10月26日の静岡新聞朝刊に掲載されました。
静岡県 （行政支援コース）	10/25 10:00~16:20　12名 ①講義「咽頭拭い検体採取からRNA抽出について」 ②Real-time PCRへのアプライ及び実習 ③コロナPCR検査の説明、機器・器具取り扱いについての講義（座学） ④唾液検査処理からReal-time PCRへのアプライ及び実習 ⑤Real-time PCRの結果解釈講義（座学）							
愛知県	11/15　23名 ①講演「県内の感染状況と行政の取り組み」愛知県保健医療局 ～大参秀徳氏より ②実技　PPE・N95マスク着脱方法、鼻腔・咽頭からの検体採取、LAMP法、RT-PCR法について核酸抽出及び核酸増幅の手順を体験				10/11 （会員2名非会員3名）講義、参加者間での実技・PPE着脱講習会実施			11/15PCR研修会の模様が翌11/16「中日新聞（三河版）」に掲載 メディカルテストジャーナル12月中旬掲載予定
三重県	11/15　14名（午前7名/午後7名） 講義「COVID-19の遺伝子検査の基礎」 実技「RT-PCR実習　試薬調製・核酸抽出・増幅行程・結果判定の見方等を体験」 情報交換				10/18　10名 ①スライド使用した基礎講座 ②PPE着脱とシュミレータでの実技 ④参加者同士での実技			11/15 PCR研修会の模様が翌日11/16「中日新聞」「伊勢新聞」に掲載 【研修内容】 ①オリエンテーション ②COVID-19に関する遺伝子検査の基礎について（40分） ③PPEの正しい着脱方法 ④検体採取と保存方法 ⑤RT-PCR実習 ⑥各メーカーの試薬・機器の概要説明

福井県								
滋賀県	8/1　滋賀県との共催 講師、実務委員含め計49名 　　情報共有をかねた講演 「核施設のPCR検査体制現状」「意見交換会」	8/22　PCR(LAMP法)13名 PPE着脱実践、検体は陽性コントロール、陰性コントロールを用いた。	8/29　行政支援コース 12名 ①喀痰処理方法・RNA抽出方法 ②分子疫学的手法・PCR実技 ③リアルタイムPCRのポイント 　リアルタイムPCRのハンドブックについて		8/1 県内における「検査体制と動向調査」について講演	8/22　検体採取15名 ・N95マスクのフィットテスト ・PPE着脱方法の説明 ・検体採取の実技 ・有熱外来の見学		
京都府	6/14（基礎編）と題して21施設から50名が参加	6/29,7/3,7/8（実技編） 基礎編の受講者、各日定員10名			6/14（基礎編）と題して21施設から50名が参加	6/29,7/3,7/8（実技編） 基礎編の受講者、各日定員10名		
大阪府	11/7 大阪府との共催（原則1施設1名） （RT-PCR検査法） 実技研修コース 15名 オブザーバーコース16名	第2回　11/21　同様研修会 実技研修コース15名 オブザーバーコース14名 第3回　11/23　同様研修会 実技研修コース9名（1名欠席）	第4回　11/28　同様研修会 実技研修コース　11名(3名欠席) 第5回　11/29　同様研修会 実技研修コース　7名	第6回 12/12　実技研修コース15名 「核酸増幅検査（LAMP法）実技研修」 ≪研修内容≫ ①講義：PCRとの違いを示し、LAMP法の基本原理 ②実技研修（RNA抽出、反応試薬調整、LAMP法）を行った。				【研修内容】 講義①感染症対策について（30分）②RT-PCRの原理について（40分） 実技研修①スライドプレゼンにて検査の流れ②メーカーから使用する機器の特徴を（試薬・機器）説明③オブザーバーは見学してポイントを確認。実地研修コース参加者は3名1組で実技操作。（120分） ※その後様々な質問、回答、解説を交え、参加者の疑問の解消につながったと思われる。第3回目以降はオブザーバー参加者無し
兵庫県	9/6　兵庫県との共催 Web研修修了者80名中 午前12名午後12名　計24名	今後も同様研修会を計画中						≪研修内容≫ ・核酸抽出について講義（20分）・核酸抽出の実習（50分） ・RT-PCRについて講義（20分）・RT-PCR実習（100分）
奈良県								
和歌山県								
鳥取県					12/12　24名 ≪研修内容≫ 座学①県内における検査体制について 実技①正しいPPE着脱 　　②シミュレータを用いた検体採取			12/13　本研修会の様子は新聞掲載された。
島根県								
岡山県								
広島県								
山口県	9/5　123名（他職種含め） ①県内における検査・稼働状況体制の現状説明 ②PPE脱着、シュミレータ使用のうえ検体採取手技指導 ③検体輸送の基礎講義 ④主義上の注意点や工夫について講演	10/31　第1回と同様の内容で開催予定						
徳島県	10/10　徳島県との共催 基礎研修修了者/自施設においてPCR検査の立ち上げに従事する会員28名 ・県内の検査実績医療提供体制についての報告・意見交換 ・PPE着脱・検査環境の消毒方法							
香川県								
愛媛県								
高知県								
福岡県								
佐賀県								
長崎県	9/12　希望者23名の中から10名 ・PPE着脱方法・検体の取扱い ・検体処理、PNA抽出・試薬調製・TaqManプローブをもちいたリアルタイムRT-PCR法による遺伝子検査							PCRの合間に当会の佐々木大介遺伝子研究班班長より、各検査機器の特徴や利点、PCRとLamp法のそれぞれのメリット・デメリット等、詳細な内容の講義もしていただきました。
熊本県								
大分県								
宮崎県								
鹿児島県	9/13　鹿児島県との共催WEB研修終了者40名中、27名に対し最新機器の原理と機器紹介、PPE着脱講習				9/13　鹿児島県との共催 鼻腔については”痛くない手技”唾液採取については採取上の注意事項の確認			
沖縄県	7/19 9名の参加者→修了証発行	日付不明　12名	9/27 11名　各自採取した唾液を検体として、検体処理、核酸抽出、PCR反応までの一連操作の研修					